

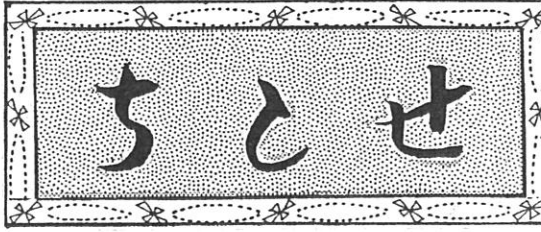
とり年になんぞ!



「オハヨウ」  
「アカアサン」  
「タダイマ」

今年(酉年)は酉年、干支の十番目の年。縁起をかつげば酉は吉にも凶にもとれる。大都市の野鳥の王者はカラスであるという。カラスを筆頭に、基本鳥五種がいると野鳥にとってまあまあの環境とみてよい。船橋、千歳台は野鳥が多く、おそらく三十種は観察できると専門家はいつている。

発行：編集委員会  
編集者：板橋 昇  
責任者：船橋出張所内  
事務局：☎(3482)0341  
1993年2月 NO.42



さて、カラスに的を絞る。カラスとゴミの物語りは、今様「権兵衛とカラス」と言える。人間が被害者で、一寸間抜け者とされ、カラスは充分満足し、人間を見下ろしている。

町内を飛び交うカラス軍団は、ゴミを出す日時と場所、さらによき餌にありつける場所をよく心得ており、定時に軍団が飛来して、あたかも自分の餌場のようになり落ちていて餌をあさり、遊びほけている。人間にとってみればタマツタものではない。さらに餌が豊かであると仲間をつれて来るから始末が悪い。

近隣の人の和がないところをねらって集中して来る。こうした状態はカラスに、「もっと人間様生活をお考えになっては？」と忠告されているのではないだろうか。人間様も、集積所に網や傘をかけたたり、台所の生ゴミは土に埋めるなど、いろいろ工夫はしているが……さて、西経堂団地の名物カラスの「ゴンタ」(十二歳)は、幼鳥の時、巢から落ち拾われて育てられた。

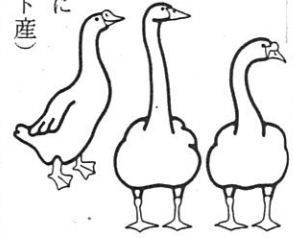
など、小学生の挨拶を覚え、今でも朝八時頃から覚えた言葉を一通りしゃべる。叱られると首をうなだれ、許されると元気によって来る。ゴンタも家族と一身胴体のように振る舞っている。

近所からゴンタはうるさいと苦情が出た。養子先を捜した。すべてことわられた。それでは仲間のところへと大空に放たれたが、すぐ戻って来た。ゴンタはもうすっかり人間と思っている。時折り思い切った「カー」と鳴くがさえない。それよりも「オハヨウ」の方が張りのあるよい声だ。

井上さんの珍鳥小屋

千歳台五丁目

昭和十六年頃、庭先に、鳥好きの井上さんが高さ三メートル、幅五メートル坪数にして約六坪もある鳥小屋をはじめ、およそ十個の鳥小屋を設けられたそうす。



日本名鳥のひとつといわれる天然記念物に指定されている東天紅、唐丸、孔雀(インド産)サンケイ(台湾産)、ギンケイ、尾長キジ、キンケイ(いづれも中国産)、ホロホロ鳥(西アフリカ産)など、三十種類およそ百二十羽が飼われていた。理科や社会科の学習に、区内生徒がよく訪れるということす。

井上さんがもっとも苦労されたのは餌のことだそうす。今はトウモロコシ、サカナを混ぜたものが主で、特に虫だけしか食べない鳥には雑穀のフスマにわかった虫を与えているとのことす。夜中には犬や猫が小屋をおそい、過去三五羽も被害に会ったそうす。屋内には剥製された鳥が百羽程保存されています。井上さんは各所に鳥を寄贈されています。もっとも鳥を増やして、鳥の動物園をつくり、皆さんに喜んでもらいたいとのことす。【T・T】



船橋小の鳥の観察

本校でよく見られる鳥として、スズメ、ヒヨドリ、キジバト、ドバト、ハシブトカラスが上げられます。その他、カワラヒワ、シジュウカラ、ハクセキレイ、季節にはツバメなども見られます。キジバトがよく木の上に巣を作って、ひなを育てています。

本校では毎年四年生がエサ台を、五年生が巣箱を手作業で作成し、三学期の頃に二、三年生の餌やりができるようにしています。例年十二月には区役所の巣箱展に愛鳥モデル校の一つとして代表作品を出展しています。自然問題がクローズアップされていますが、こうした児童の活動で、将来大きな役目を果たして行くでしょう。

【船小・山下】

■ 現在飼育中の鳥の一覧表 (羽) ■

名古屋ワカシ	5	南京シャモ	5
白鳩	36	ササゲラチャボ	ひとつがい
キンケイ	6	カツラチャボ	3
ハツカン	2	白チャボ	6
ガチョウ	3	サンケイ	2
ウズラ	3	セキセイインコ	40
サクライコ	2	ミツバチ	3群

◎ 小屋の中には23匹の白兔が共存

学校だより — その4 —

# 船橋中学校

【黒田教頭】

船橋中は昭和三十四年千歳中分校として開校、翌年船橋中学校の名で独立した区内28番目の学校です。現在まで卒業生の数は八千名を越えています。親子二代にわたり本校に学んだケースもあります。本校に学び卒業しても永くこの地に住み、本校をあたたく、時に厳しく見守ってください。そんな方々が大勢この地域に増えて欲しいと願っています。

船橋中は千歳船橋駅、祖師谷大蔵駅、祖師谷通り近辺の商店街、奥まった北側の閑静な住宅街、新興住宅街、集合住宅地(団地)と多様な住環境を学区域としています。それだけに在籍する生徒たちも個性豊かです。その持てる可能

性を引きだすよう、よくいえば「眠れる獅子」、であったかもしれない船橋中も教職員が時代を直視し、理解し、先見性を身につけ、二十一世紀を睨んだ教育を実践しようとして動きはじめました。

地域の方々の支持あってこそその公立中学校です。子どもたちが平和で、落ち着いて学べる学校づくりに教職員一同がんばって参ります。

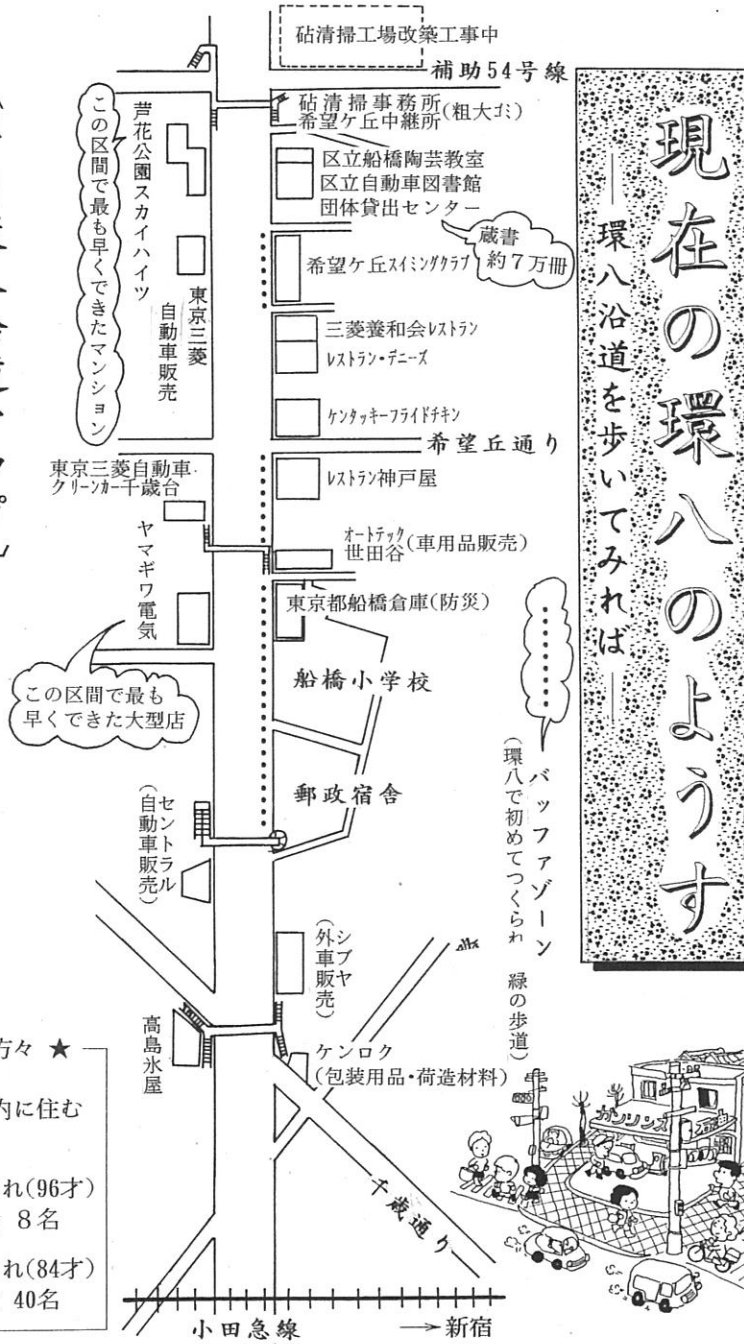
現在(平成四年十二月)生徒数五八〇名、十六学級の中規模校の船橋中ですが、今、本校も規模縮小(学級減)の危機にさらされています。一人でも多く子どもが船橋中へ進学してきてくれることを願っています。

## 編集後記

冬らしからぬ不安定な天気が続いています。かぜなどひかぬよう気を付けてお過ごし下さい。

12月より編集委員が変わりました。(新)平野千代 (旧)藤田脩子  
今年もよろしく願いました。  
[S・T]

## 〔管内環八沿道マップ〕



# 現在の環八のようす

## 環八異変

環状八号線「通称「環八」が我々のまちを貫通してそろそろ四十分一世紀になるのか。地域の風情にそぐわない「巨大」な自動車幹線道路が出現して想像すらしなかった現象が幾つかある。その代表的な現象が「カンパチ雲」であろう。これは三年前、ある週刊誌に大きな写真入りで報道

され、「社会的に認知」されてしまった。真夏のひるさがり「環八」の上空に、もくもくと盛り上がった積雲が列をなしているではないか。以来、夏になると、カンパチ雲が「出た」、「出ない」の素人お天気博士らの観天望がさかんとする。物凄い車輪、排気ガス、浮遊粉

塵、道路と車の輻射熱、これらが主因となって「環八」上空に激しい上昇気流が発生するらしい！これに、大都市の熱気団と郊外の気団がどうやら「環八」あたりで収斂している。時に、一時間90ミリの豪雨もここに集中し、異変がおこっている。  
【K・M】

- ★ とり年の方々 ★
- 船橋出張所管内に住む方々
- ◆ 明治30年生まれ(96才) 男 1名 女 8名
  - ◆ 明治42年生まれ(84才) 男 15名 女 40名

- ★ 共同募金
- 金 七四二、九三二円
  - ★ 歳末たすけあい
  - 金 一、六四二、〇二二円